

2026年3月期 第1四半期 決算補足資料

2025年 8月 12日

INNOVATION

株式会社イノベーション
東証グロース市場：3970

Mission

「働く」を変える

ビジネスにInnovationを起こし、
働く喜びと感動で満ちた社会へ

会社名 株式会社イノベーション

所在地 東京都渋谷区渋谷三丁目10番13号
TOKYU REIT 渋谷R ビル3F

代表者 富田 直人

従業員数 382名
※2025年6月末時点

資本金 1,241,236千円
※2025年6月末時点

子会社 株式会社Innovation & Co.
株式会社Innovation X Solutions
株式会社シャノン
株式会社Innovation IFA Consulting
株式会社Innovation M&A Partners
INNOVATION HAYATE V Capital投資事業有限責任組合
INNOVATION V Capital投資事業有限責任組合

INDEX 目次

1. 2026年3月期1Q 決算概要
2. オンラインメディア事業
3. ITソリューション事業
4. 金融プラットフォーム事業
5. VCファンド事業
6. 業績予想・配当

1. 2026年3月期1Q 決算概要

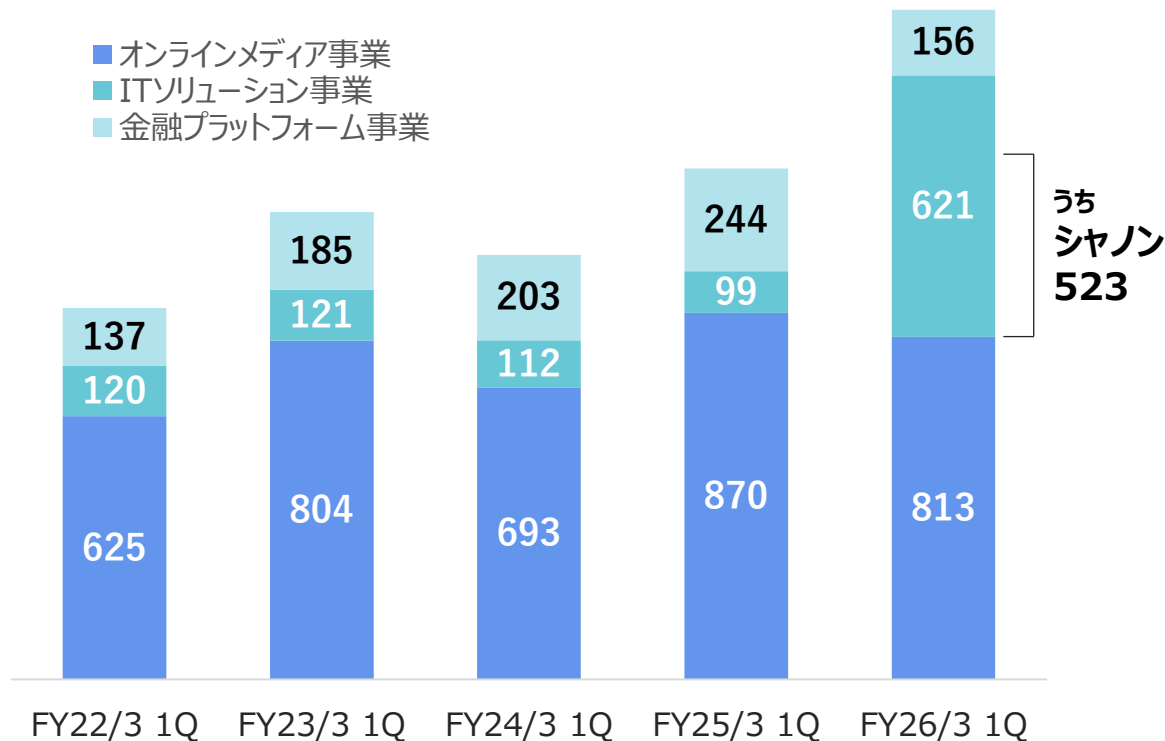


単位（百万円）

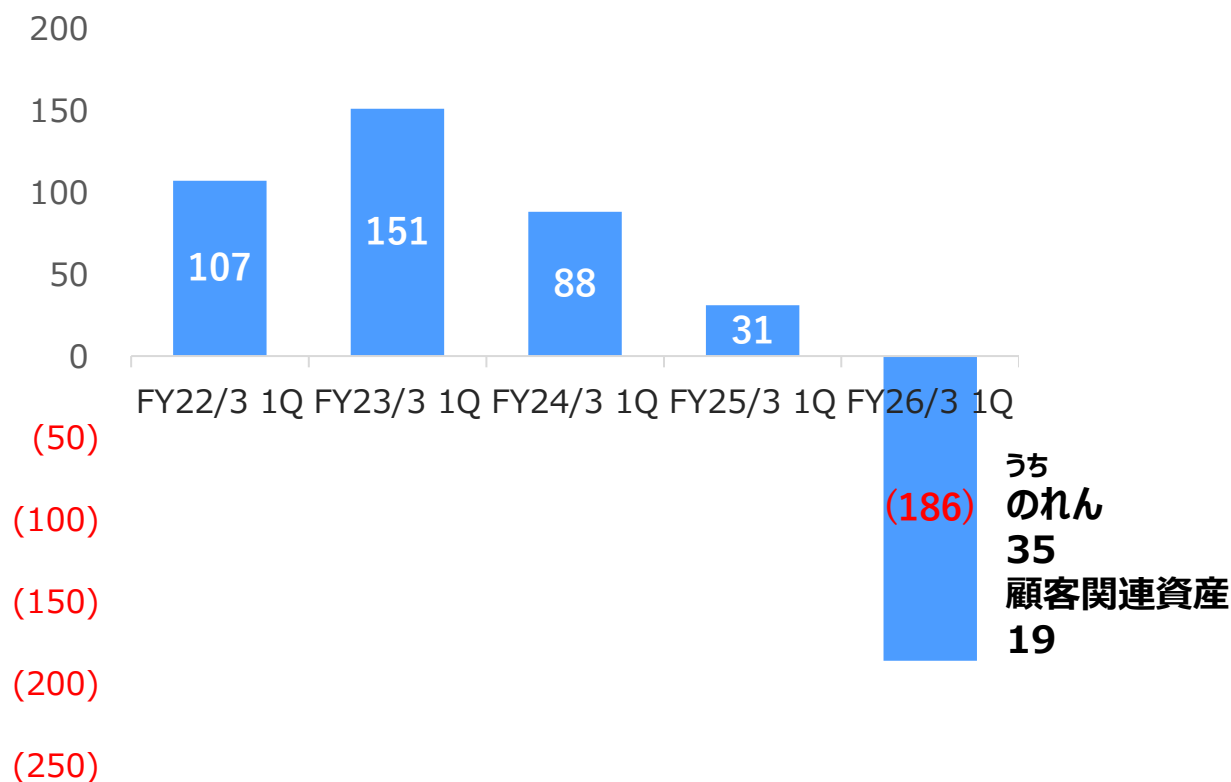
	FY25/3 1Q (TOB前)	FY26/3 1Q (TOB影響除外)	TOB影響	FY26/3 1Q連結 (実績)	前年同期比 (増減)	前年同期比 (%)
売上高	1,215	1,067	523	1,591	+376	+31.0%
営業損益	31	△143	△43	△186	△217	-%
EBITDA	47	△123	37	△86	△133	-%
経常損益	31	△204	△41	△245	△276	-%
親会社株主に帰属 する当期純利益	△12	△160	△26	△186	△173	-%

- 株式会社シャノンの連結開始により、**ITソリューション事業の売上高が大きく伸長**
→ 連結売上高に占める割合は**約40%まで上昇**し、**ストック収益比率が向上**
- 一方で、オンラインメディア事業の売上高が前年比で減少、**のれん・無形固定資産の償却開始**、
及び**新規事業開発の推進コスト**を先行的に計上したことにより、**営業損失を計上**
- ただし、計画比では概ね**順調に推移**

▶ セグメント別売上高 単位：百万円



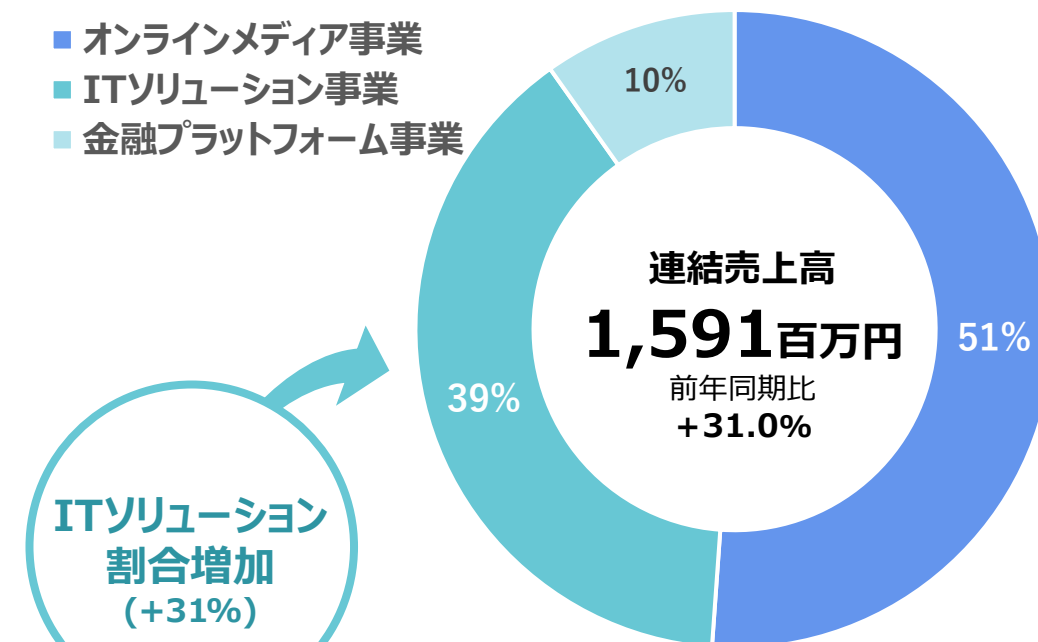
▶ 営業損益 単位：百万円



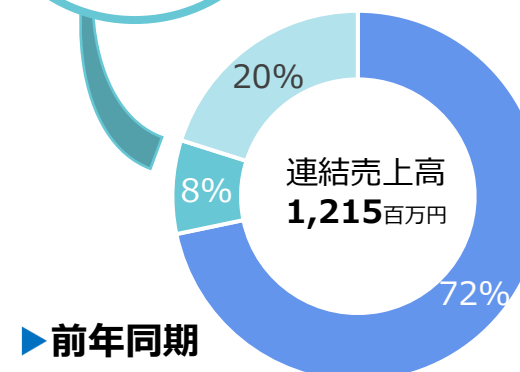
オンライン メディア 事業	 ITトレンド B2B商材のマッチングプラットフォーム  bizplay B2B特化の動画プラットフォーム  ITトレンド EXPO B2B特化のイベントプラットフォーム
ITソリューション 事業	 List Finder MA 中小企業向け マーケティング支援クラウド  SHANON MARKETING PLATFORM 大手企業・エンタープライズ向け マーケティング支援クラウド  Sales Doc. 営業支援クラウド  Cocripo オンラインセミナー支援クラウド
金融 プラットフォーム 事業	 Innovation - IFA - Consulting IFAサービス  IMAP 事業承継M&Aサービス
V Cファンド 事業	 IHVC  IVC CVCによる投資事業

▶ FY26/3 1Q 売上高構成

- オンラインメディア事業
- ITソリューション事業
- 金融プラットフォーム事業



ITソリューション
割合増加
(+31%)

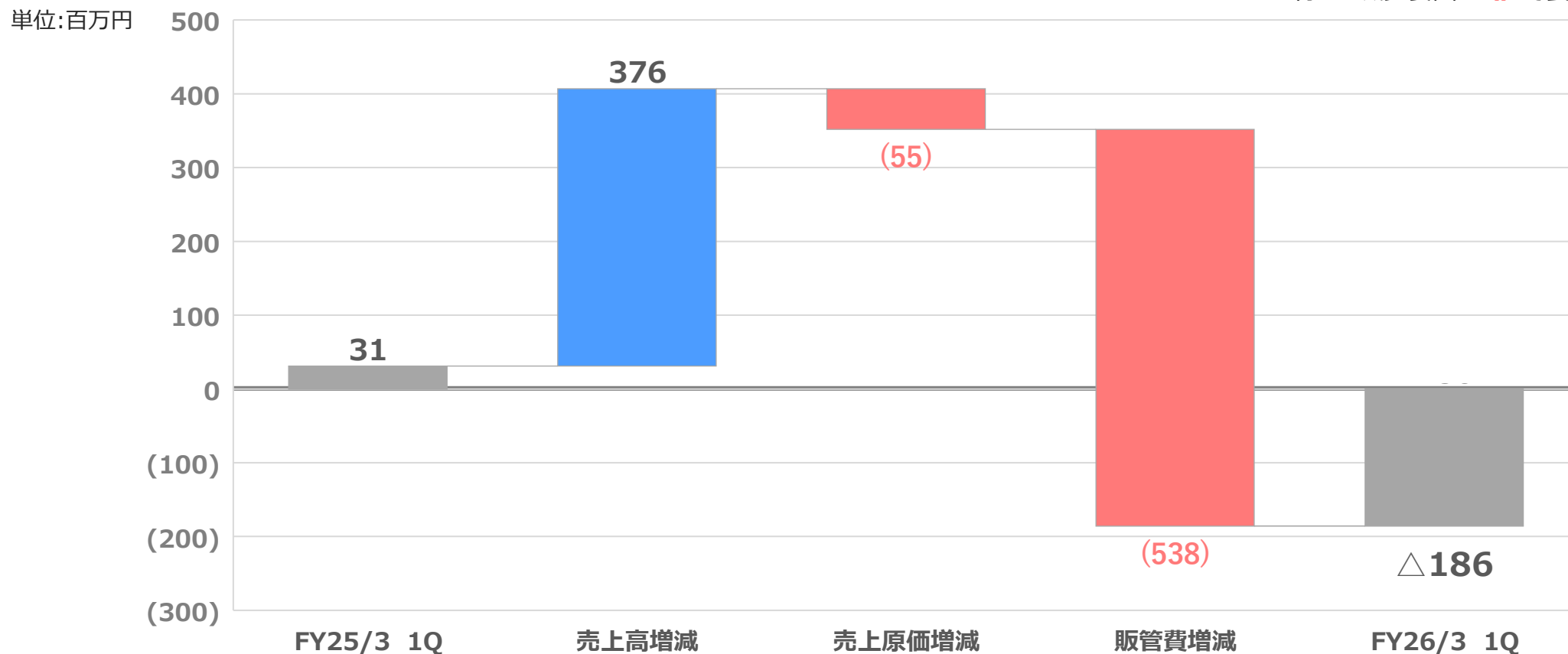


▶ 前年同期

営業損失の主な要因は以下の4点

- 株式会社シャノン業績の取り込み開始による売上高の増加
- オンラインメディア事業における売上高の減少
- のれん及び無形固定資産の償却開始による販管費の増加
- 新規事業開発の推進拡大による販管費の増加

※利益の減少要因を () で表示



安定した財務基盤の維持を図りつつ、中長期的な成長に向けた戦略的投資を積極的に推進

- 2025年4月10日付で、**短期借入金2,200百万円を長期借入金（固定負債）へ借換**
- これにより、**中期的な資金繰りの安定性を確保**するとともに、**成長投資に充当可能な財務余力を確保**
- 今後も、**健全な自己資本比率（39.7%）を維持しつつ、資金の効率的な運用を図る方針**

単位（百万円）

	FY25/3 連結	FY26/3 1Q連結	増減
流動資産	4,975	4,402	△11.5%
固定資産	3,344	3,395	+1.5%
資産合計	8,321	7,798	△6.3%
流動負債	3,748	1,705	△54.5%
固定負債	506	2,315	+357.4%
負債合計	4,254	4,020	△5.5%
純資産合計	4,067	3,777	△7.1%
自己資本比率	40.7%	39.7%	-

2. オンラインメディア事業

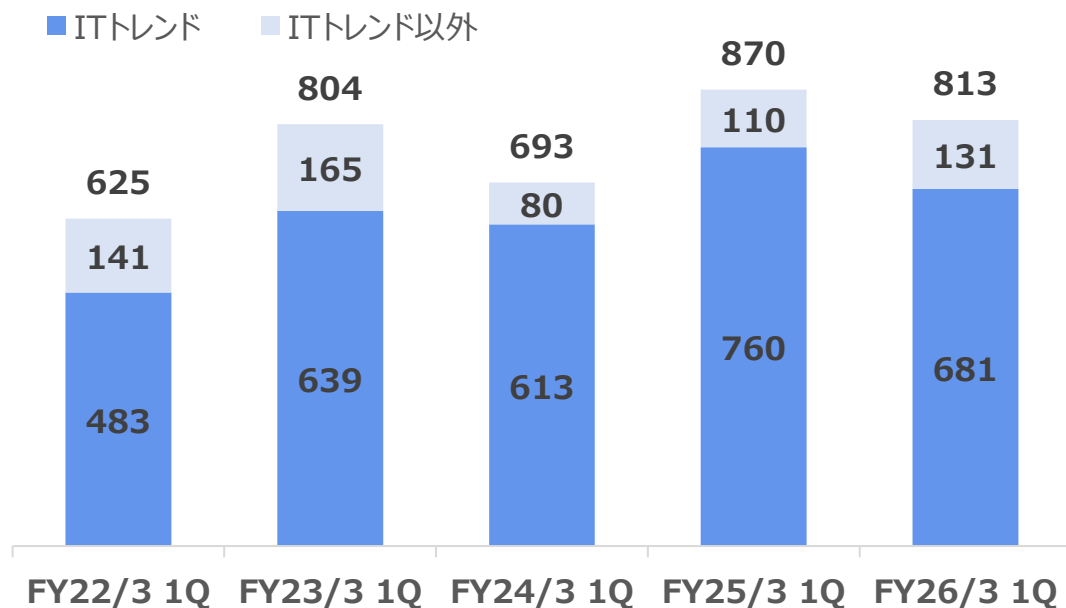


売上高は813百万円（前年同期比6.6%減）、売上高の減少にともないセグメント利益は222百万円（前年同期比25.0%減）

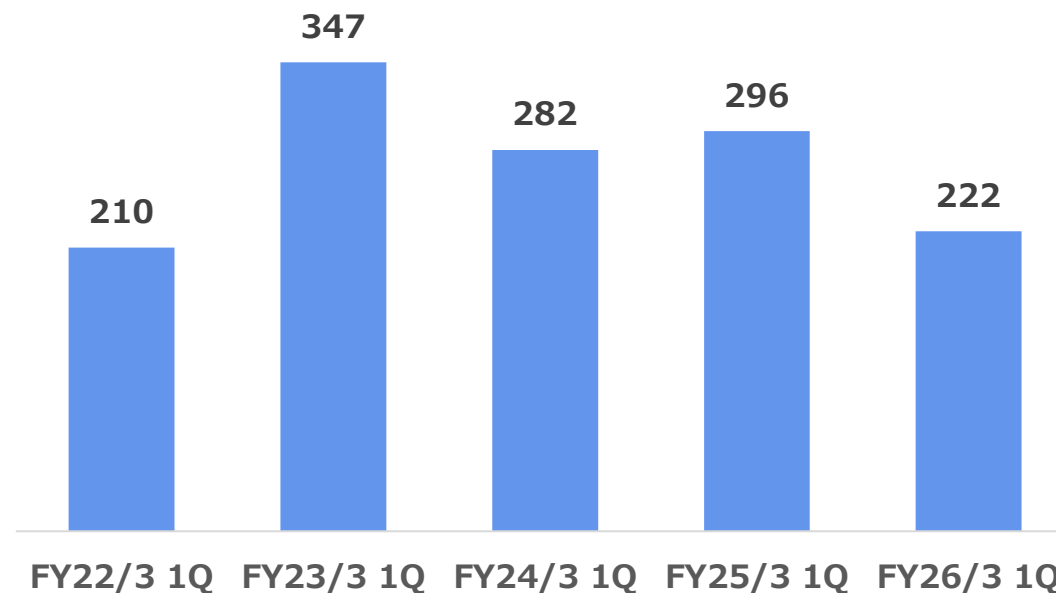
主な変動要因と戦略進捗

- **生成AI普及**により情報収集チャネルの多様化により、検索経由のトラフィックが前年同期比で減少
- 一方で、**資料請求数は堅調に推移**しており「量から質への転換」が着実に進展し、リードのLTVは向上
- 日経BPの契約形態変更（業務委託⇒代理店）の影響により収益減少
- **会員ビジネスへのシフト**を本格化し、bizplayをはじめとした新たなメディアの会員数は上昇傾向

▶ 売上高 推移 単位：百万円

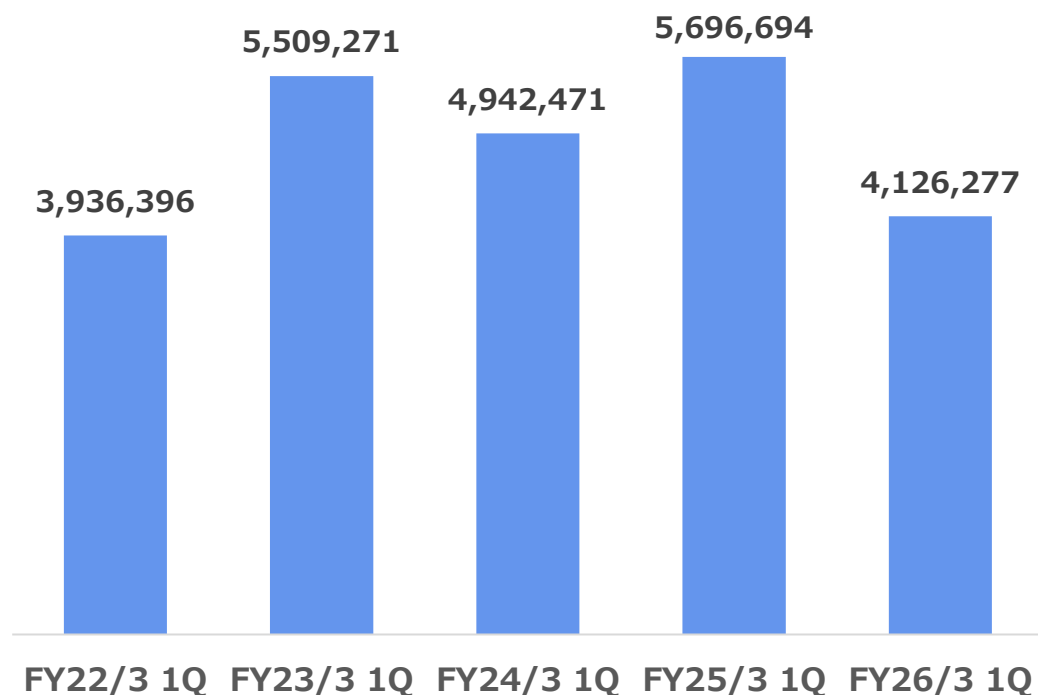


▶ セグメント損益 推移 単位：百万円

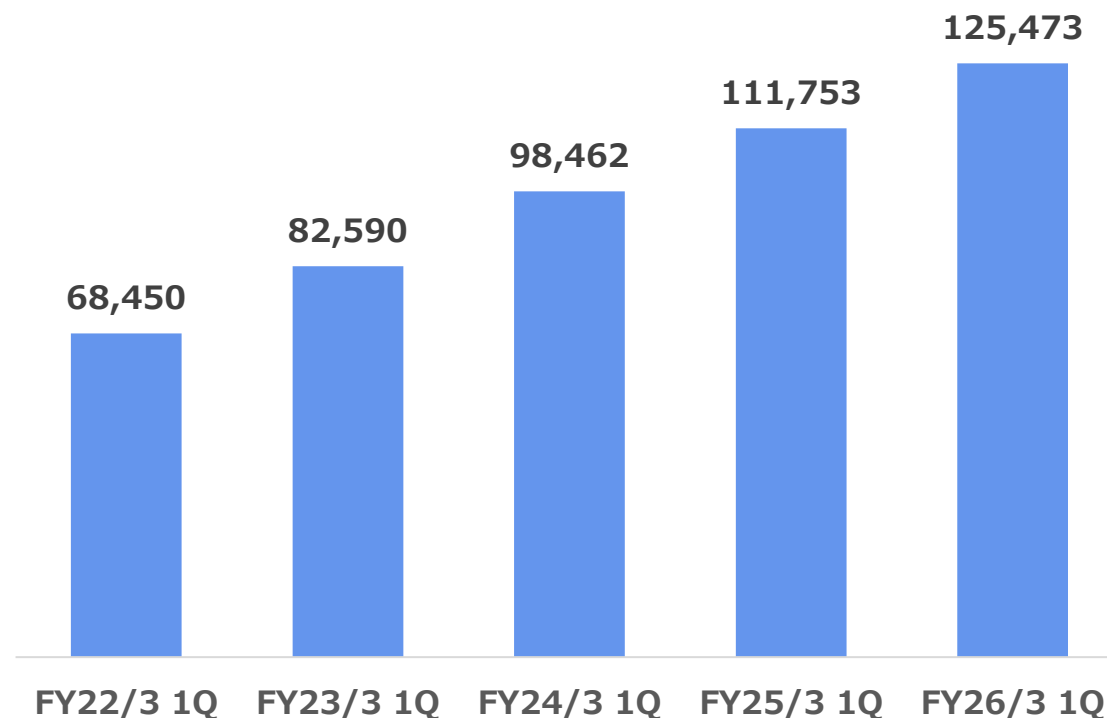


- **ITトレンド**：来訪者数は4,126,277人（前年同期比△27.6%）
→ 検索エンジン経由のトラフィックが生成AI普及により減少傾向だが、資料請求数は維持、コンバージョン精度の向上が進展
- **bizplay**：会員数を中心に順調に成長中
→ 質の高い接点創出と、SaaS/動画などとの連携強化を推進中
- **全体方針**：リード獲得型から会員基盤を軸とした戦略へのシフトを進行中
→ LTV最大化に向け、継続的な接点構築とコンテンツ連携を推進

▶ **ITトレンド 来訪者（ユーザー）数** 単位：UU



▶ **bizplay 会員ユーザー数** 単位：人



3. ITソリューション事業



- 企業規模に合ったソリューション提供、国産MAの安心感を競合優位性と位置づけ、国産MA（マーケティングオートメーション）のシェア拡大を推進

あらゆる規模の企業が安心して使える国産MA提供

#セキュリティ #日本語サポート

SHANON MARKETING PLATFORM

- ・エンタープライズ、大企業向け
- ・イベント連携型の高機能MA

List Finder MA

- ・中堅中小企業向け
- ・リーズナブルで初めての方も扱いやすいMA

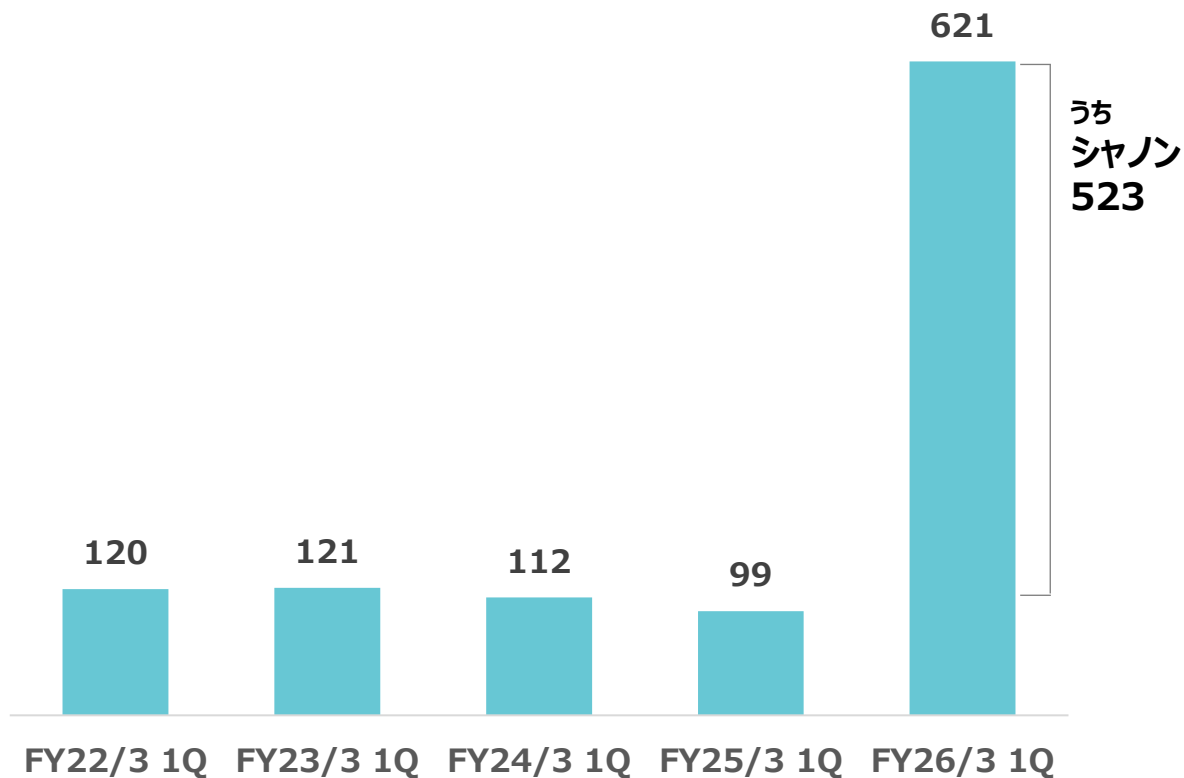
エンター
プライズ

大企業

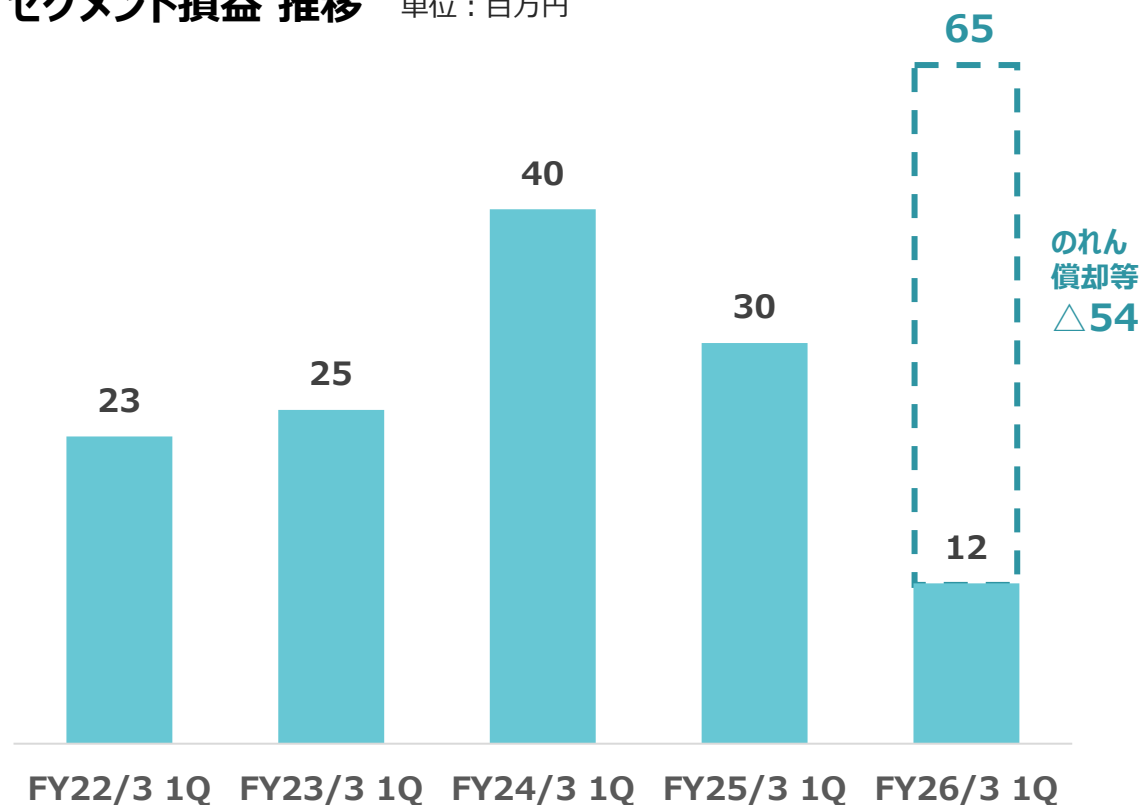
中堅中小企業

- 「List Finder」はアカウント数365件（前年同期比△14.1%）と一部調整局面
- 新たに連結子会社となった株式会社シャノンの「SHANON MARKETING PLATFORM」が加わったことで、**セグメント全体としては売上高は大幅な増加を実現**
- 一方で、のれん償却等が54百万発生した影響にてセグメント利益は減少

▶ 売上高 推移 単位：百万円



▶ セグメント損益 推移 単位：百万円



- 株式会社シャノンのTOB完了を受け、現在当社グループではPMI（統合プロセス）に着手
- グループ再編や管理機能の統合・効率化も視野に入れ、**グループ全体のシナジー最大化と体制強化**を進行

2025年
4月

新経営方針の制定（利益志向及びガバナンス強化）

早期の黒字転換・利益志向経営への転換及びガバナンス強化のため、新経営方針KPI策定および監査等委員会設置会社へ移行し、株式会社イノベーションから一部の取締役が新たに選任されました。グループとしての経営管理体制を強化し、意思決定の透明性と迅速性の向上を図っています。

2025年
5月

資本業務提携の正式締結

グループ内で保有するSaaS製品群の連携を本格化させ、プロダクト間の統合的な提供や営業協業を通じた収益成長の加速を目指しています。

今後の
計画

高収益事業へのリソース集中

今後の成長性・収益性を踏まえた整理・見直しを推進し、SaaS事業への経営資源の集中を図っています。

財務体質の改善

構造改革の進展により営業損失を大幅に縮小し、**2025年12月期での営業黒字化**を目指しています。

製品・営業面での連携開始

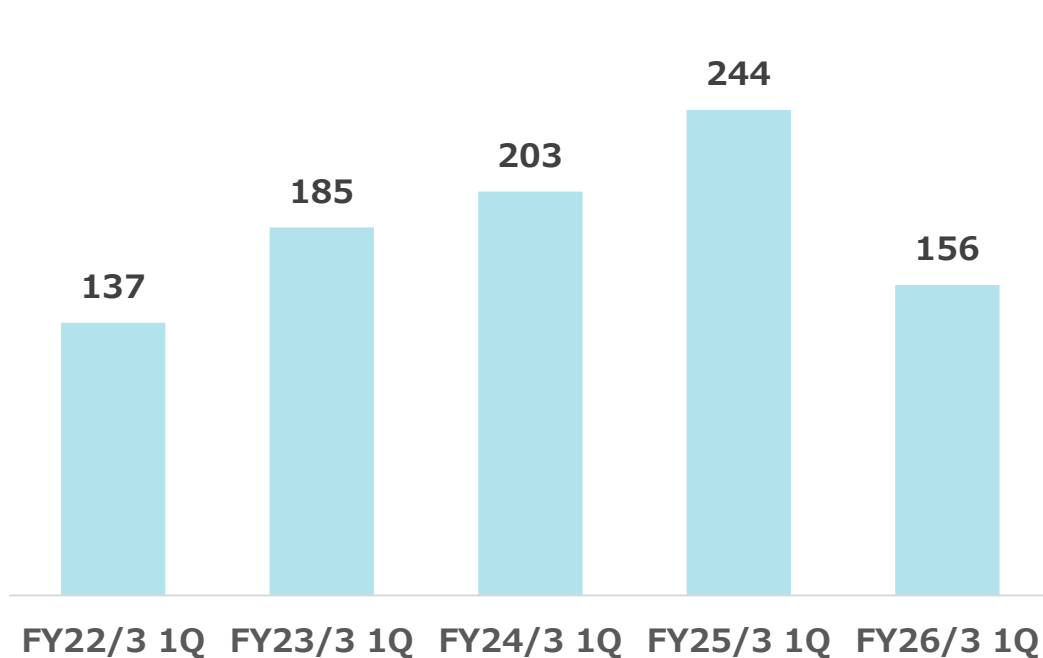
「List Finder」「ITトレンド」と「SHANON MARKETING PLATFORM」とのクロスセル及び営業支援体制の構築を進めており、グループ横断でのプロダクト活用と顧客基盤の統合によるシナジー創出を推進します。

4. 金融プラットフォーム事業

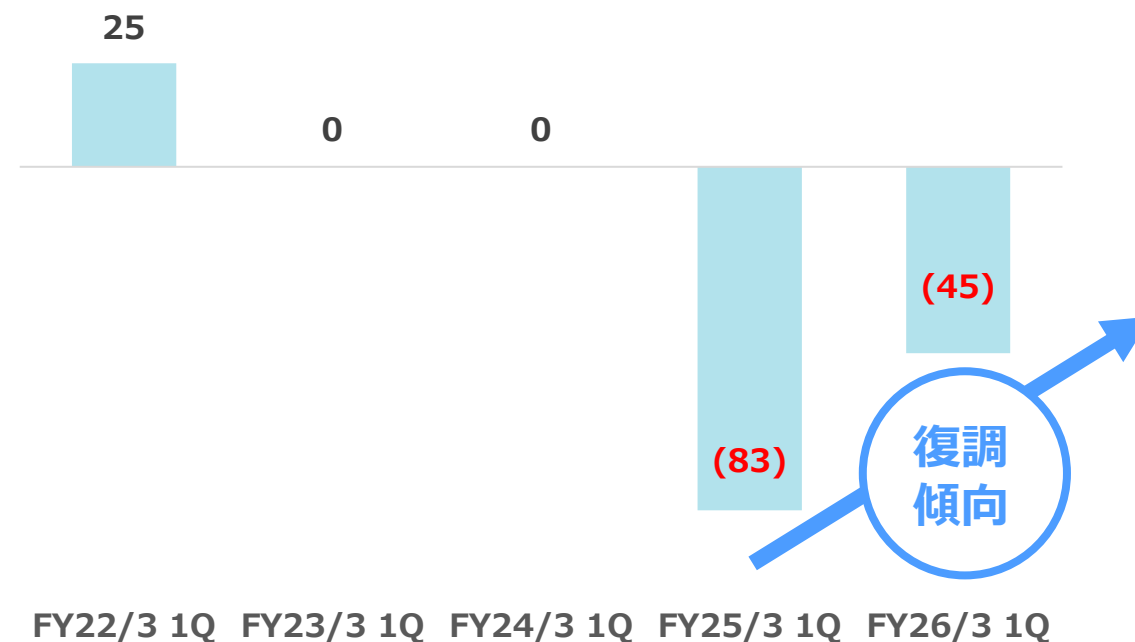


- 営業・管理部門を含めた**組織体制の強化**を実施
IFA業務委託部門の売却によりトップラインは一時的に減少したものの、収益構造は大幅に改善傾向
また、売却に伴い特別利益として19百万円を計上
- 見込み顧客との接点拡大を目的とした**デジタルマーケティング施策への投資**も継続的に推進
- 上記に伴う先行コストが影響し、
→ 売上高は156百万円（前年同期比△36.0%）、セグメント損失は45百万円

▶ **売上高 推移** (1) 単位：百万円



▶ **セグメント損益 推移** (2) 単位：百万円



5. VCファンド事業



- 2025年5月15日「**INNOVATION V Capital 投資事業有限責任組合（以下IVC）**」をイノベーション・エンジン株式会社と共同で設立
- INNOVATION HAYATE V Capital投資事業有限責任組合では、IPO企業（GVA TECH株式会社）が誕生したことを受け、**追加投資を推進するステージ**に
- IVC中心に、引き続き新規投資の推進**を実施予定。デジタルイゼーション・地方創生・人的資本経営・次世代HRテック等、幅広い領域において「働く」のアップデートに資するスタートアップ企業への投資を予定

			
		INNOVATION V Capital投資事業有限責任組合	INNOVATION HAYATE V Capital投資事業有限責任組合
General Partner		イノベーション・エンジン株式会社	ハヤテインベストメント株式会社
主な Limited Partner		株式会社イノベーション	株式会社イノベーション
設立日		2025年5月15日	2023年4月9日
運用期間		10年（2年の延長あり）	10年（2年の延長あり）
運用総額		10億円程度	10億円程度
投資対象	投資エリア	日本国内	日本国内
	投資テーマ	デジタルイゼーションを推進する革新的なソリューションやサービスを提供するスタートアップ	デジタル技術や革新的なビジネスモデルで世の中の『働く』を変えるスタートアップ

6. 業績予想・配当



単位（百万円）

	FY25/3 実績	FY26/3 計画	前期比（増減）	前期比（％）
売上高	5,343	8,300	+2,957	+55.3%
営業損益	351	390	+ 39	+10.8%
EBITDA	424	685	+261	+61.5%
経常損益	340	340	0	-0.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	67	200	+ 133	+196.4%
配当（予想）	40.00円	40.00円		

本資料は、投資家の皆様への情報提供のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得、売却等の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に含まれる将来の見通し、戦略、計画、見積等に関する記述は、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断される一定の前提に基づくものであり、実際の業績等は様々な要因により、これらとは大きく異なる可能性があります。

また、本資料に記載された業界動向・統計情報等は、信頼性が高いと判断される情報源をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を当社が保証するものではありません。

本資料をご利用される際は、ご自身の判断と責任において行動いただくようお願いいたします。
当社は、本資料の内容に基づいて生じたいかなる損害についても責任を負いかねます。